



# 安心できるクラウド型メール・セキュリティとは？

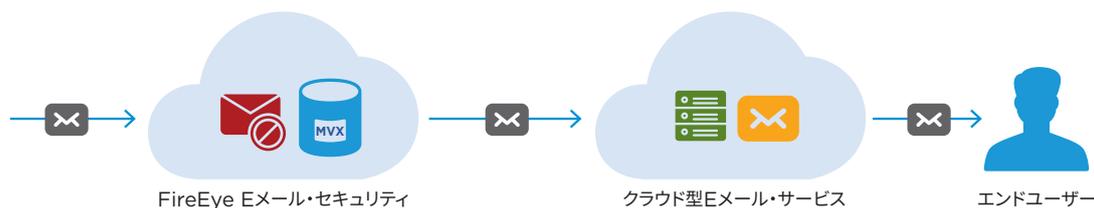
## FireEye Eメール・セキュリティ + Microsoft Office 365

### FireEye Eメール・セキュリティ

- 添付ファイルや不正URL、なりすましなどに起因するビジネスへの悪影響を軽減
- 進化を続ける攻撃に迅速に対応し、攻撃者を出し抜く
- コンテキストベースの脅威インテリジェンスの活用により、検知率を強化

オンプレミス環境からOffice 365への移行が進むにつれ、クラウドベースのメール・セキュリティ対策が急がれています。「なりすまし」によりメール攻撃はさらに巧妙化し、また、URLを用いた攻撃も増加しています。メール・セキュリティ対策は、進化を続ける攻撃に対し、迅速に対応していく必要がありますが、ファイア・アイのテストによると、Office 365に搭載されている様々なセキュリティ機能は、最新の標的型攻撃に対応できないことがわかっています。

添付ファイルやURLを悪用した攻撃や、なりすましなど、巧妙な攻撃に対する対策を持つファイア・アイのEメール・セキュリティは、Microsoftのセキュリティ・アドオンの一歩先を行くソリューションです。アンチウイルスとアンチスパム(AV/AS)を統合することで、複数のセキュリティ対策の導入から解放されます。クラウドベースであるため、導入も非常に簡単なFireEye Eメール・セキュリティは、Office 365やExchange Online環境のセキュリティを強化することができます。



昨今問題となるメール攻撃は、スパムなど目立つ形ではやって来ません。それどころか、巧妙に細工されたスパイフィッシングメールや標的型メールなど、一目では見破れない姿で現れます。一見害のないメール内のリンクをクリックしてしまうことで、危険なマルウェアがダウンロードされ、さらにパスワードを窃取され、また、不正送金まで行われる事態を招きかねないのです。攻撃者は、こういった巧妙なメールを活用して攻撃し、企業や資産を危険にさらすのです。

FireEyeは、世界のサイバー・セキュリティをリードする専門家集団で、数多くのゼロ・デイ攻撃を発見することでも世の中に貢献しています。FireEyeは、20万時間を超えるインシデント対応や世界中の1,600万台にのぼるセキュリティセンサーが検知した脅威情報、1ヶ月あたり5万のIoCや1,000万の攻撃者追跡情報などを相関解析することで、独自のサイバー・セキュリティ対策システムを構築しています。

FireEye Eメール・セキュリティの詳細、およびMicrosoft Office 365環境での利用については、[www.FireEye.jp](http://www.FireEye.jp)をご覧ください。

#### ファイア・アイ株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-22  
テラススクエア8階 |  
03-4577-4401 |  
Japan@fireeye.com

© 2018 FireEye, Inc. All rights reserved. FireEyeはFireEye, Inc.の登録商標です。本資料のその他のブランド名、製品またはサービス名はそれぞれその所有者の商標またはサービスマークとして登録されている場合があります。SB.O365.JA-JP-062018

